

事業コード	H25-建-新-01		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方街路交付金事業		部局課室名	建設部 都市計画課
事業種別	現道拡幅		班 名	都市整備班 (tel) 018-860-2444
路線名等	都市計画道路 川尻広面線		担当課長名	吉尾 成一
箇所名	秋田市大町(横町工区)		担当者名	京谷 仁美
総合計画との関連	政策コード	17	政 策 名	新たな生活圏の創造
	施策コード	01	施 策 名	街なか活性化による賑わいの再生
	指標コード	02	施策目標(指標)名	街なか居住の促進

1. 事業の概要

事業期間	H26 ~ H32 (7年)	総事業費	30.0億円	国庫補助率	0.7																																																							
事業規模	延長L=197m 幅員6.0(25.0)m																																																											
事業の立案に至る背景	<p>(都)川尻広面線(県道名:(主)秋田岩見船岡線)の秋田市大町区間は、秋田市都心部の交通渋滞を緩和させる都心環状道路の一部として位置づけられている重要な幹線道路である。</p> <p>しかし、現道は全幅員が7.8m~8.8mと狭く、一方通行規制がなされているほか、歩道も無く荷下ろしのための停車が常態化しており、円滑な道路交通が阻害されている。</p> <p>隣接する寺町工区(344m)が完成供用(H25.7)しても当該区間がボトルネックとなり、環状機能を十分に発揮することが出来ないことから、拡幅により一方通行を解消し、交通混雑の緩和と良好な沿道環境の形成を図るとともに、人が集う賑わいのある市街地の形成に寄与する。</p>																																																											
事業目的	<p>○バス交通を含めた都市内交通の円滑性確保</p> <p>○公共公益施設へのアクセス向上</p> <p>○安全で快適な都市生活の充実</p>																																																											
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>全 体</th> <th>H26 年度</th> <th>H27 年度</th> <th>H28 年度</th> <th>H29 年度以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>3,000,000</td> <td>40,000</td> <td>214,000</td> <td>313,000</td> <td>2,433,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">経費内訳</td> <td>工事費</td> <td>370,000</td> <td></td> <td></td> <td>370,000</td> </tr> <tr> <td>用補費</td> <td>2,500,000</td> <td></td> <td>164,000</td> <td>283,000</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>130,000</td> <td>40,000</td> <td>50,000</td> <td>30,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源内訳</td> <td>国庫補助</td> <td>2,100,000</td> <td>28,000</td> <td>149,800</td> <td>219,100</td> </tr> <tr> <td>県 債</td> <td>648,000</td> <td>8,640</td> <td>46,224</td> <td>67,608</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>180,000</td> <td>2,400</td> <td>12,840</td> <td>18,780</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>72,000</td> <td>960</td> <td>5,136</td> <td>7,512</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>道路改築 L=197m</td> <td>詳細設計 用地測量 建物調査</td> <td>建物調査 用地補償</td> <td>建物調査 用地補償</td> <td>用地補償 道路改築</td> </tr> </tbody> </table>						全 体	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度以降	事業費	3,000,000	40,000	214,000	313,000	2,433,000	経費内訳	工事費	370,000			370,000	用補費	2,500,000		164,000	283,000	その他	130,000	40,000	50,000	30,000	財源内訳	国庫補助	2,100,000	28,000	149,800	219,100	県 債	648,000	8,640	46,224	67,608	その他	180,000	2,400	12,840	18,780	一般財源	72,000	960	5,136	7,512	事業内容	道路改築 L=197m	詳細設計 用地測量 建物調査	建物調査 用地補償	建物調査 用地補償	用地補償 道路改築
	全 体	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度以降																																																							
事業費	3,000,000	40,000	214,000	313,000	2,433,000																																																							
経費内訳	工事費	370,000			370,000																																																							
	用補費	2,500,000		164,000	283,000																																																							
	その他	130,000	40,000	50,000	30,000																																																							
財源内訳	国庫補助	2,100,000	28,000	149,800	219,100																																																							
	県 債	648,000	8,640	46,224	67,608																																																							
	その他	180,000	2,400	12,840	18,780																																																							
	一般財源	72,000	960	5,136	7,512																																																							
事業内容	道路改築 L=197m	詳細設計 用地測量 建物調査	建物調査 用地補償	建物調査 用地補償	用地補償 道路改築																																																							
調査経緯	<p>都市計画決定(当初S29.7 最終H7.12)</p> <p>H23 費用便益比分析 H24 まちづくり関係調査(アンケート, ワークショップ運営)</p> <p>H25 路線測量, 道路予備設計</p>																																																											
上位計画での位置付け	県が策定する「都市計画区域マスタープラン」																																																											
関連プロジェクト等																																																												
事業を取り巻く情勢の変化	西側隣接工区「寺町工区」が平成25年7月に供用																																																											
事業効率把握の手法	<table border="1"> <tr> <td>指標名</td> <td colspan="4">都市計画道路整備率</td> </tr> <tr> <td>指標式</td> <td colspan="4">整備済み延長/都市計画決定延長</td> </tr> <tr> <td>指標の種類</td> <td>○ 成果指標 ● 業績指標</td> <td colspan="2">低減指標の有無</td> <td>● 有 ○ 無</td> </tr> <tr> <td>目標値 a</td> <td>58 %</td> <td colspan="2" rowspan="2">データ等の出典</td> <td rowspan="2">都市計画年報</td> </tr> <tr> <td>達成値 b</td> <td>58 %</td> </tr> <tr> <td>達成率 a/b</td> <td>100 %</td> <td>把握の時期</td> <td colspan="2">平成24年 9月</td> </tr> </table>					指標名	都市計画道路整備率				指標式	整備済み延長/都市計画決定延長				指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標	低減指標の有無		● 有 ○ 無	目標値 a	58 %	データ等の出典		都市計画年報	達成値 b	58 %	達成率 a/b	100 %	把握の時期	平成24年 9月																													
指標名	都市計画道路整備率																																																											
指標式	整備済み延長/都市計画決定延長																																																											
指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標	低減指標の有無		● 有 ○ 無																																																								
目標値 a	58 %	データ等の出典		都市計画年報																																																								
達成値 b	58 %																																																											
達成率 a/b	100 %	把握の時期	平成24年 9月																																																									

2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	○秋田市中心部の交通渋滞緩和を図るためには、都心環状道路の一部である当路線の整備は重要である。 ○歩道がないものの、歩行者交通量441人/12h、自転車853台/12hと多く、歩行者・自転車の安全確保が急務の区間となっている。 ○良好な沿道環境の整備により、賑わいのある市街地の形成が求められている。	34 点
緊 急 性	○救急病院 (市立病院, 中通病院) への搬送時間が短縮される。 ○西側344mはH25.7に供用する。	11 点
有 効 性	○歩道のバリアフリー化, 消・融雪施設の整備により良好な都市空間を創出する。 ○良好な沿道環境の形成が図られ、中心市街地の活性化に寄与する。	25 点
効 率 性	○事業の費用便益比は1.16であり効率性は高い。 ○4車線の計画であったものを2車線に見直してコスト削減を図った。	8 点
熟 度	○早期着手・早期完成の要望書が毎年出されており、地域住民は川尻広面線全線供用を切望している。 ○まちづくりワークショップを開催し、通りの将来イメージ, 横町らしさについて地域住民が主体となって話し合いを続けている。街並み形成のルール作りに向けて作業を進めており、熟度は高い。	10 点
判 定	ランク (● I ○ II ○ III) 地域住民が主体となって検討しているまちづくりの計画実現に向けて、秋田市も主体的に協力しており、当該区間周辺のまちづくり計画実現に向けて県が街路事業を実施すべきと判断する。	88 点
総 合 評 価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留 地元と市と県が役割分担し、通行の利便性向上や歩行者の安全確保、当該区間周辺の賑わい創出や防災機能の向上など、市のまちづくり施策と一体となった街路整備が行われ、都市機能の向上に繋がる有効な事業と判断する。	

3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
当該路線は、秋田市の都心環状道路の一部となる重要な幹線道路であるが、幅員が狭く一方通行の規制があり、隣接する工区は完成供用したが環状機能を発揮できない状態である。そのため、交通混雑の緩和と良好な沿道環境の形成は、快適で魅力ある市街地環境の形成と交通安全の確保の観点から、必要性及び緊急性は高く事業実施という1次評価は妥当と判断される。	

4. 財政課長意見

意見内容	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
当該区間は、都心環状道路の一部である幹線道路であるが、幅員が狭小で一方通行規制があるほか、歩道もなく危険な状態にある。また、まちづくりを推進する観点から、流通・景観の面で費用便益では見られない効果があり、隣接区間との一体的な活用が可能なこと、計画車線の減少や歩道融雪幅を必要最小限にするなど、優先度やコスト削減の観点からも妥当である。	

5. 最終評価 (新規箇所選定会議)

総合評価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
事業の実施は妥当である。	

6. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

計画的な実施に努める。

7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。 秋田市と地元の協力により、実効性を持って、まちづくりと一体的に事業を推進すること。

評価種別 **新規箇所** ・ 継続箇所 事業コード (H25-建-新-01) 箇所名 秋田市大町(横町工区)

適用事業名 **街路事業**
(通常事業・交付金事業・地方特定事業・県単独事業)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性 (42点)	都市計画道路の規模及び機能	道路の規模及び分類	幹線街路	5	5	2車線以上かつ幅16m以上	
			補助幹線街路	3			
	上記以外の補助幹線街路など	0					
	都市構造上の機能	放射環状道路	5	5	5	都心環状道路	
		放射環状道路を補完する道路	2				
		その他の道路	0				
	現況道路における問題箇所 (バイパス・新設路線については、競合する路線を現況道路とみなす)						
	交通容量不足 (現道混雑度1.0以上)	該当	3	3	3	一方通行道路	
		非該当	0				
	主要渋滞箇所の渋滞解消・緩和 に効果のある道路	該当	3	3	3	山王十字路,山王五丁目交差点	
		非該当	0				
	狭隘道路 (1車線道路・一方通行道路)	該当	3	3	3	一方通行道路	
		非該当	0				
	線形不良・勾配不良 (道路構造令又は県の基準に達しない道路)	該当	3	0	0		
		非該当	0				
	バス路線	該当	3	3	3	檜山大回り線ほか	
		非該当	0				
	歩道や自歩道が無い道路 (規定幅員が確保されていない場合を含む)	該当	6	6	6		
		非該当	0				
	通学路指定	該当	3	3	3	旭北小学校	
		非該当	0				
	人身事故発生地点	該当	3	3	3	24件(H15~H24)	
		非該当	0				
県事業としての必要性							
県道又は県道となる見込みの道路	該当	5	0	0			
	非該当	0					
計				42	34		
緊急性 (13点)	防災機能向上への貢献度						
	・ 緊急輸送道路 ・ 避難路 ・ 老朽橋梁又は耐震性の劣る橋梁の架替・補強 ・ 延焼防止(現況幅員W<12m→拡幅後W≥12m)	該当項目2以上	7	7	7	避難路, 延焼防止	
		該当項目1	5				
		該当項目0	0				
			0				
	関連事業の有無						
	各種プロジェクト支援 (国・県・市町村など)	該当	1	0	0		
		非該当	0				
	公共公益施設等アクセス (市町村役場・医療機関・学校・公民館など)	該当	1	1	1	医療機関(市立病院, 中通病院)	
		非該当	0				
	他の公共事業関連 (街路事業以外の事業支援)	該当	1	0	0		
		非該当	0				
	隣接区間の整備状況						
隣接区間の整備状況	整備済み	3	3	3	寺町工区		
	未整備	0					
計				13	11		

評価種別 **新規箇所** ・ 継続箇所

事業コード (H25-建-新-01) 箇所名 秋田市大町(横町工区)

適用事業名 **街路事業**
(通常事業・交付金事業・地方特定事業・県単独事業)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
有効性 (25点)	市街地の活性化とまちづくりへの貢献度	<ul style="list-style-type: none"> DID区域内 市街地再開発・区画整理等との連携 無電柱化計画 景観、中心市街地の活性化やまちづくりに資する 商業地域内 	該当項目2以上	10	10	DID, 中心市街地, 商業地域内
			該当項目1	5		
			該当項目0	0		
	物流の高度化と交流の円滑化への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 高速ICアクセス 港湾・空港アクセス 新幹線駅又は特急停車駅へのアクセス 主要な観光地へのアクセス 駅前広場の造成 広域道路整備計画 	該当項目2以上	5	5	高速IC, 新幹線駅アクセス
			該当項目1	3		
			該当項目0	0		
	安全で快適な生活環境への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリー 二次・三次医療施設へのアクセス 消融雪施設又は流雪溝の整備 耐雪幅の確保 道路緑化の推進 	該当項目2以上	5	5	バリアフリー, 医療施設(2次), 融雪施設
			該当項目1	3		
			該当項目0	0		
上位計画の位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> 県総合計画 都市計画マスタープラン 渋滞対策 その他関連計画 	該当項目1以上	5	5	都市マス	
		該当項目0	0			
	計		25	25		
効率性 (10点)	費用便益比(B/C)	費用便益比(B/C)	1.0以上	5	5	1.16
			1.0未満	0		
	計画交通量	計画交通量	10,000台/日以上	5	3	約8400台
			4,000台/日以上10,000台/日未満	3		
			1,000台/日以上4,000台/日未満	2		
			1,000台/日未満	0		
	計		10	8		
熟度 (10点)	都市計画決定	都市計画決定の状況	都市計画決定済み	4	4	H7.12変更
			都市計画決定予定	2		
	地域のニーズ	地域・各種団体等からの要望・陳情・請願等	有り	3	3	秋田市横町通りまちづくり推進協議会
			なし	0		
	地域の協力体制	関係市町村や地域住民の協力	有り	3	3	
			なし	0		
	計		10	10		
	合計		100	88		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	合計点	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	88	
II	優先度が高い	60点以上~80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		